

ミステリ読書案内

2024. 6. 15 発行元

第582号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

D・E・ウエストレイク「ベスト表」(再掲)

ドナルド・E・ウエストレイク、リチャード・スターク、タッカー・コウなどの名義を使い分けて、さまざまなタイプの犯罪ミステリを書いた人物。そのウエストレイクの『ベスト表』を再度取り上げることにする。

ハードボイルドの流れを受けて

ウエストレイクの作品の中ではリチャード・スターク名義の『悪党パーカー』シリーズの方が有名かもしれないが、私は初期のハードボイルドの流れに沿った作品も好きだし、その後の『吾輩はカモである』以下のユーモア作品も大好きだ。

ウエストレイクのスタートは正統派ハードボイルドというか、ハメット作品に通じるものがあると思

う。探偵役の主人公が動くことによって連続的に事件が動き出し、その有様を淡々と描いていく手法が…。そして登場してくる人物たち行動が…。悪事に巻き込まれていく世の中のあり方が…。

以前の『代表作』の号では『殺し合い』『吾輩はカモである』『ホットロック』を取り上げた。今回はデビュー長編の『やとわれた男』と、短編集の『ウエストレイクの犯罪学講座』を取り上げることにした。

「やとわれた男」

1960年の作品。私の手元にあるのは1977年に出たハヤカワミステリ文庫。ウエストレイクの長編第一作になる。本書の後には『殺し合い』『361』『その男キリイ』『憐みはあとに』と続いていく。これらの初期の長編群はシリアスなハードボイルド路線で書かれていて、力作揃いである。

物語の主人公は組織の殺し屋をやっているジョージ・クレイトン。ある日の夜中過ぎに麻薬密売人で本人も麻薬中毒者になっているビリイ＝ビリイ・キャンテルが助けを求めてきた。政界の黒幕である男の情婦がナイフで殺された現場に出くわしたビリイが、自分が犯人にされると思ってクレイトンのところへ逃げてきたのだ。クレイトンが組織のボスに連絡を取り始めると、刑事がやってきてドアを叩く。急いでビリイを隠し、刑事に應對している間に、ビリイは非常口から逃げてしまった。警察よりも早くビリイを発見して、次なる処置を考えなければ…。

「ウエストレイクの犯罪学講座」

1978年。ハヤカワミステリ文庫。ウエストレイクの短編は60編+α存在するようだ。その中から小鷹信光が13編を選んで日本で独自に構成した短編集。「犯罪学講座」らしく、教訓めいた言葉を冠しているのが特徴。

第一話は『最悪の日』。火曜日に銀行強盗を計画していたが、その日銀行が突然休みに。その町出身の宇宙飛行士が里帰りすることになり、急遽パレードが実施された。それで次の水曜日に銀行強盗を実行にうつした。完璧な計画を立てたつもりなのだが、逃走車が走るはずの逃げ道が…。ショートショートみたいな作り。「銀行強盗は吉日を選ぶべし」ユーモア系の作品とシリアス系の作品が入り混じって編集されている。以下「殺人をジョークに見せかける方法」とか「世界一巨大な殺人の凶器」などと続いていく。『サンセット77』のパスティーシュ風。どれも楽しんで読める作品ばかりだ。ウエストレイクの才能が光る。

《D・E・ウエストレイクのベスト表》

1. 殺しあい
2. 吾輩はカモである
3. やとわれた男
4. ホット・ロック
5. 弱虫チャーリー逃亡中
6. ジミイ・ザ・キッド
7. ウエストレイクの犯罪学講座 (短)
8. 強盗プロフェッショナル
9. その男キリイ
10. 刑事くずれ
11. トラヴェステイ
12. 悪党たちのジャム・セッション
13. 361
14. 臘のリンゴ
15. ヒッピー殺し
16. 牡羊座の凶運
17. 憐れみはあとに
18. 誰がサッシ・マヌーンを盗んだか
19. 悪党パーカー／殺戮の月
20. 刑事くずれ／最後の依頼人
21. 空中楼阁を盗め!
22. 悪党パーカー／人狩り
23. 悪党パーカー／殺人遊園地
24. 悪党パーカー／裏切りのコイン
25. カジノ島壊滅作戦
26. 俳優強盗と嘘つき娘
27. 俳優強盗と悩める処女
28. 悪党パーカー／漆黒のダイヤ
29. 悪党パーカー／死者の遺産
30. 悪党パーカー／怒りの追跡
31. レモンは嘘をつかない
32. 標的はイーグル
33. 悪党パーカー／犯罪組織
34. 悪党パーカー／掠奪軍団
35. 黒い国から来た女
36. 悪党パーカー／吊いの像
37. 悪党パーカー／襲撃
38. 悪党パーカー／エンジェル
39. 死神がみている
40. 悪党パーカー／逃亡の顔
41. 汚れた七人

私が読んでいるのはここまで。ハヤカワ・ポケットミステリ、ハヤカワ・ミステリ文庫が中心になっているが、角川文庫、その他の単行本など各出版社からも数冊ずつある。